|  |  |
| --- | --- |
| 受験番号 |  |

令和７年度大阪府公立学校教員採用選考テスト

支援学校　自立活動　解答用紙　（１枚のうち１）

４

得点

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| （１） | ① | 発作中は呼吸がしにくくなるため、衣服を緩めて呼吸がしやすい体位をとらせる。また、顔を横に向けるなどして、痰がのどにつまらないようにする。口の中に食べ物が入っている場合は窒息することがあるため、口の中のものを出す。これらの対応と併せて、発作時の状態等の記録、時間の計測を行う。 | | | | | | | | | | | | ／ |
| ② | ア | | ５ | | | | ／ | イ | | ２ | | | ／ |
| （２） | ・リラックスさせたうえで、体を丸くさせ（屈曲させ）そり返りを和らげる。  ・顎を前に出して喉を広げることで呼吸しやすい姿勢を取らせ、痰がひっかかっている時には、吸入する。 | | | | | | | | | | | | | ／ |
| ／ |
| （３） | ・主治医の指示書に基づく医療的ケアの実施  ・認定特定行為業務従事者である教員への指導・助言  ・主治医との連携（主治医訪問等） | | | | | | | | | | | | | ／ |
| ／ |
| ／ |
| （４） | 杖 | | 携帯性に優れ、段差乗り越えや階段昇降することができ、車椅子で対応困難な狭い場所で使用することもできる。不安定な支持性しか与えられないため、ごく軽介助にて歩行できる運動能力が必要となる。 | | | | | | | | | | | ／ |
| 歩行器 | | 安定した支持性を与えることができるが、使用は段差のない場面に限られる。独歩を獲得するまでの練習として使用することができる。 | | | | | | | | | | | ／ |
| （５） | ① | | 楽しみ | | ／ | ② | 興味や関心 | | | ／ | | ③ | 活発 | ／ |
| ④ | | 語彙 | | ／ | ⑤ | 文字 | | | ／ | | ⑥ | 便利さ | ／ |